

【原谷ミニバスケットボールスポーツ少年団の指導者としての誇りを胸に】

私たちは原谷ミニバスケットボールスポーツ少年団指導者として、子ども達にバスケットボールを楽しむための豊かなで質の高い経験ができる機会を用意し、子ども達が成長とともに強い興味を持ってミニバスケットボールからバスケットボールへと移っていけることを目標に指導します。

1. 子ども達の人権を尊重し、子ども達が理解しやすく実践しやすい指導について常に研究を重ねながら指導をします。
 2. 子ども達の自発的な行動を引き出し、伸びのびと活動できるよう指導します。
 3. すべての子ども達が上達や成長について公平な機会（チャンス）を持っています。子どもたち一人ひとりがこのことを知り、自覚する機会としての練習の重要性を大切に指導します。
 4. 発育途中の子ども達が心身ともに健全に成長するために事故やけがに対して十分な対策をもち、また情緒的、精神的な安定が図れるよう配慮します。
- 附. 上記をひと時として忘れることなく、指導者としての資質の向上に努めます。特に2012 年末から報道等にとり上げられている、所謂「体罰」（暴力的指導）問題については、これを断固排除すべく取り組んでいきます。

原谷ミニバスケットボールスポーツ少年団指導者